

令和元年度 “「長久手市役所の仕事」通知表” の作成（外部評価）⑫

令和元年 8 月 6 日 開催概要

開催概要	
会議等の名称	令和元年度行政評価・外部評価⑫ 「中央図書館事業」【中央図書館】
開催日時	令和元年 8 月 6 日（火） 午前 10 時 45 分から午前 11 時 45 分まで
開催場所	市役所北庁舎 2 階 第 5 会議室
出席者氏名 （敬称略）	<p><外部評価実施者></p> <ul style="list-style-type: none"> ・行政改革推進委員 石橋健一、樋口和則、細萱健一 ・外部評価委員 唐田宏樹、村上 結 <p><担当課></p> <p>教育部長 角谷 俊卓、中央図書館主幹 二之部香奈子、同館係長 水野香織</p> <p><事務局></p> <p>総務部長 中西直起、同部次長兼行政課長 飯島 淳、同課係長 加藤優作</p>
傍聴者人数	5 人
問合せ先	長久手市総務部行政課 0561-56-0605
備考	

外部評価実施者の意見等	<ul style="list-style-type: none"> ・市民参加型の図書館ボランティアは有意義なため、ボランティアを支援していく仕組みは重要であり、引き続き支援に取り組まれない。 ・修理ボランティアについて、人員数に課題があることは認識したため、引き続き尽力されたい。 ・障がい者向け図書を扱っていることは有意義なため、貸出状況を分析し、継続した取組に期待する。また、周知も行ってほしい。 ・これから先、電子図書が普及するため、調査、研究する必要があると思う。 ・成果指標の「貸出点数」や環境変化の中で近隣市で比較している「市民 1 人あたりの年間貸出冊数」について、延べ貸出数や、1 人あたり貸出数のため、多く借りる人がいる他方で少ない人もいるため、これだけで満足してはいけないと思う。
-------------	---

	<ul style="list-style-type: none"> ・図書館の利用は、本を借りるだけではなく勉強や本を読むことなど様々なため、図書館の利用状況を分析し、引き続き、利用しやすい環境づくり取り組まれない。他市町に在住している人は、「長久手市の図書館はよい」と言っているため、引き続き尽力されたい。 ・市内登録率を上げることについて、「年齢別貸出点数グラフ」を見ると、30歳代、40歳代と小学生以下の割合が高いことにより、子育て世代とその子どもが登録していることが読み取れるため、中学生以上の10歳代と20歳代が少ないことから、ここがターゲットとなる。このターゲットについて、20歳代はビジネス書、学生は受験や学問に関する書籍かと推測できるため、統計資料を分析し、活用するとよい。 ・入館者数と貸出利用数の差（約3分の1の利用）について、年齢構成層（年齢別貸出点数グラフ）の求める書籍と違うもの入っていたり、なかったりするものと思う。 ・貸出利用数を増やすためには、入館者数を増やす必要があり、入館者数が増えると駐車場を拡大する必要が生じる。一つの課題を解決すると、また違う課題が出てくるため、上手に長期的に考えて取り組んでほしい。 ・ボランティアのロコミは効果的であるため、利用者数の増加のために活用するとよい。 ・他の課との連携について、非常に考慮して取り組んでいるため、引き続き機能強化を図りつつ、本へのアクセスが身近になるように取り組まれない。
--	--

<p>講評・まとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・統計資料が多くあるため、この資料を分析し、適切に準備し、上手に管理、運営し、よい雰囲気の図書館を継続して作ってほしい。 ・ボランティアの活動について、引き続き尽力され、また、多くの人が関わり、ボランティアの人たちが「自分たちの図書館」と思えるような活動、取組を推進してほしい。
---------------	--